

確かな学力向上推進プラン

令和2年2月現在
江戸川区立第七葛西小学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：																		
教科	平成30年度 結果		令和元年度 目標値		令和元年度 結果		令和2年度 目標値		令和2年度 結果		令和3年度 目標値		令和3年度 結果		令和4年度 目標値		令和4年度 結果	
国語	20問	61.1%	問	65%	18問	64.6%	問	65%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
社会	22問	74.4%	問	75%	18問	67.6%	問	70%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
算数	31問	58.9%	問	60%	26問	63.4%	問	65%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
理科	20問	71.2%	問	72%	19問	57.6%	問	60%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%

学力向上に向けた取組							
論点	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 復習、補充プリント・ドリルの実施（家庭学習の定着） 学生ボランティアの活用 放課後補習教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 復習、補充プリント・ドリルの実施（家庭学習の定着） 放課後補習教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 復習、補充プリント・ドリルの実施（家庭学習の定着） 習熟度別少人数指導 放課後補習教室の実施 漢字テスト・算数プリントにおける反復学習 	<ul style="list-style-type: none"> 復習、補充プリント・ドリルの実施（家庭学習の定着） 習熟度別少人数指導 放課後補習教室の実施 漢字テスト・算数プリントにおける反復学習 	<ul style="list-style-type: none"> 復習、補充プリント・ドリルの実施（家庭学習の定着） 習熟度別少人数指導 放課後補習教室の実施（算） 	<ul style="list-style-type: none"> 復習、補充プリント・ドリルの実施（家庭学習の定着） 習熟度別少人数指導 放課後補習教室の実施。 （作文・漢字・計算・新聞づくり） 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な学力の定着を図るような指導をしている。（学校関係者評価アンケート） 成果 肯定的な回答 82.5% 目標 肯定的な回答 85%以上
論点2 学習規律の 徹底	<ul style="list-style-type: none"> 「七小のやくそく」に基づき規則の明文化を図る。 具体例を提示し、話し方と聞き方の指導の徹底。 特別の教科 道徳を要とした計画的、発展的な道徳教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「七小のやくそく」に基づき、規則の明文化を図る。 具体例を提示し、話し方と聞き方の指導の徹底。 ノートの書き方、机に出す物、正しい姿勢の指導。 特別の教科 道徳を要とした計画的、発展的な道徳教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「七小のやくそく」に基づき、規則の明文化を図る。 具体例を提示し、話し方と聞き方の指導の徹底。 次時の学習用具の準備等、学習規律の定着を図る。 特別の教科 道徳を要とした計画的、発展的な道徳教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「七小のやくそく」に基づき、規則の明文化を図る。 具体例を提示し、話し方と聞き方の指導の徹底。 学習規律の定着を図る。 特別の教科 道徳を要とした計画的、発展的な道徳教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「七小のやくそく」に基づき、規則の明文化を図る。 時間厳守の行動。 「めあて」「まとめ」の板書、ノート指導。 具体例を提示し、話し方と聞き方の指導の徹底。 特別の教科 道徳を要とした計画的、発展的な道徳教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「七小のやくそく」に基づき、規則の明文化を図る。 時間厳守の行動。 「めあて」「まとめ」の板書、ノート指導。 具体例を提示し、話し方と聞き方の指導の徹底。 特別の教科 道徳を要とした計画的、発展的な道徳教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の規則を守っていますか。（都学力調査） 成果 肯定的な回答 91.7% 目標 肯定的な回答 91%以上
論点3 生活習慣の 確立	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に努め、個に応じた指導の徹底 保護者への周知理解を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に努め、個に応じた指導の徹底 学期ごとの学習、生活のめあて作成と、学期末の振り返り。 保護者への周知理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に努め、個に応じた指導の徹底 保護者への周知理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に努め、個に応じた指導の徹底 保護者への周知理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に努め、個に応じた指導の徹底 保護者への周知理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に努め、個に応じた指導の徹底 保護者への周知理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べていますか。（都学力調査） 成果 肯定的な回答 97.9% 目標 肯定的な回答 98%
論点4 家庭学習の 指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習週間を利用した、家庭学習の習慣づけと基礎基本の定着。 漢字学習ノートの書き方等の提示、活用。 家庭学習として宿題、日記等を課し、提出物のチェック、コメント等の記入。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習週間を利用した、家庭学習の習慣づけと基礎基本の定着。 宿題（長期休業日含む）のチェックの保護者実施。 家庭学習として宿題、日記等を課し、提出物のチェック、コメント等の記入。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物のチェックの徹底。 家庭学習週間を利用した、家庭学習の習慣づけと基礎基本の定着。 漢字学習ノート・計算ドリルの書き方等の提示、活用。 家庭学習として宿題を課し、提出物のチェック、コメント等の記入。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物のチェックの徹底 発達段階に応じた適切な量の課題の提示や個別指導。 家庭学習を終えられない場合に昼休みや放課後を活用した指導を行う。 漢字学習ノート・計算ドリルの書き方等の提示、活用。 家庭学習として宿題、日記等を課し、提出物のチェック、コメント等の記入。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物のチェックの徹底 発達段階に応じた適切な量の課題の提示や個別指導。 自主学帳を作成し、計画、実施、改善のPDCAサイクルの確立。 個人面談での家庭への周知、啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物のチェックの徹底 発達段階に応じた適切な量の課題の提示や個別指導。 提出物の添削、評価による意欲向上。 個人面談での家庭への周知、啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（都学力調査） 成果 30分未満 36% 目標 30分未満 15%以下
論点5 言語に関する 指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教科を問わず意図的に書かせる活動の徹底。 ペアや小グループでの「話し合い」「学び合い」「教え合い」「発表」を導入 「学習課題」または「めあて」、「まとめ」「振り返り」を授業の流れで規定 	<ul style="list-style-type: none"> 教科を問わず意図的に書かせる活動の徹底。 200字程度の日記を書く。（週1回） ペアや小グループでの「話し合い」「学び合い」「教え合い」「発表」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科を問わず意図的に書かせる活動の徹底。 ペアや小グループでの「話し合い」「学び合い」「伝え合い」「発表」を導入 「学習課題」または「めあて」、「まとめ」「振り返り」を授業の流れで規定 1分間スピーチの実施 朝読書、すきま読書等の読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的なペア・小グループでの話し合い活動 自分の考えをノートに書かせてからの発表・話し合い活動。 朝の会における1分間スピーチの実施 「学習課題」または「めあて」、「まとめ」「振り返り」を授業の流れで規定 朝読書、すきま読書等の読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じた発問の精選 発達段階に応じた系統的な指導 スピーチの機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のスピーチの実施。 相手や場に応じた話し方の習得。 目的に応じた話し合い活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の前で自分の考えや意見を発表する機会がありますか。（都学力調査） 成果 肯定的な回答 78.3% 目標 肯定的な回答 80%以上

論点6 教員の学習 指導力向上	・校内研修、区教研への積極的参加。 ・教師間による教材、情報の共有。 ・日常的な教員同士の意見交換 ・学年を超えて授業を見合う授業研究	・校内研修、区教研への積極的参加。 ・教師間による教材、情報の共有。 ・日常的な教員同士の意見交換 ・学年を超えて授業を見合う授業研究	・校内研修、区教研への積極的参加 ・教師間による教材、情報の共有。 ・日常的な教員同士の意見交換 ・学年を超えて授業を見合う授業研究	・校内研修、区教研への積極的参加。 ・教師間による教材、情報の共有。 ・日常的な教員同士の意見交換 ・学年を超えて授業を見合う授業研究	・校内研修、区教研への積極的参加。 ・教師間による教材、情報の共有。 ・日常的な教員同士の意見交換 ・学年を超えて授業を見合う授業研究	・校内研修、区教研への積極的参加。 ・教師間による教材、情報の共有。 ・日常的な教員同士の意見交換 ・学年を超えて授業を見合う授業研究	・各教科の授業の内容はどのくらい分かりますか。 (都学力調査) 成果 肯定的な回答 国 88.7% 算 84.5% 理 86.6% 社 75.3% 目標 全教科 80%以上
-----------------------	--	--	---	--	--	--	---

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点					
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	・平仮名・片仮名・漢字の読み書き、音読を宿題とし、基礎基本の定着を図る。毎週1回日記を書き、文章表現の向上を図る。	・朝のスピーチの実施。 ・「話し合い」の時間を増やす。 ・作文指導を行う。	・朝のスピーチやグループでの話し合い活動を通して、考えを伝える力や聞く力を育てる。 ・漢字の反復練習を通し、基礎基本の定着を図る。	・段落の中心文を見つけ、的確に読み取ることができるよう、指導の工夫を行い、繰り返しの学習活動で身に付けさせる。 ・漢字の反復練習を通し、基礎基本の定着を図る。	・文章の要旨が的確に捉えられるように指導を工夫したり、自分の考えを、筋道を立てて述べられるように継続的に話し合い活動やスピーチを実施したりする。	・文章の要旨や主題を捉えられるように指導を工夫したり、自己の学びについて自分の言葉で書いたりすることを通して振り返らせる。
社会			・白地図を活用し、方位や江戸川区の様子についての理解を図る。 ・教科書等の資料を活用し、情報を読み取る。	・47都道府県の名称と位置の理解を図る。 ・教科書等の資料を活用し、情報を読み取る。	・グラフなどの資料を基に、産業や情報に関する現在の日本の現状を適切に読み取ること課題を明確にし、多角的にその課題に対する考えをもてるようにする。	・資料や情報を積極的に提供することにより興味関心を高め、主体的な学習につなげる。 ・新聞づくりの活動を通し、情報リテラシーを高める。
算数	・基本的な計算技能や、各単元の復習を算数ドリルやプリントを活用して行い、基礎基本の定着を図る。	・基本的な計算技能や、各単元の復習をプリントを活用して行い、基礎基本の定着を図る。	・ドリルやプリントを活用し、計算技能の定着を図る。 ・学習活動の中に、自立解決で考えをもたせ、それを伝え合う時間を設ける。	・基礎基本の定着を図るための反復練習を行う。 ・見通しをもって、自分の考えを筋道立て、説明する力を育む。	・自力解決の時間を十分に設定し、筋道を立てて自分の考えを伝えたり、友達の考えと比較したりすることで数学的思考力を高める。	・課題把握ができるように導入を工夫することで児童に見通しをもたせる。 ・毎時間振り返りを行い、学習を結びつけたり、新たな課題をもたせたりする。
理科			・事象や現象に興味関心をもたせ、課題追究をする中で、差異点や共通点に気づき、問題を見出せるような指導の工夫を行う。	・導入でしっかりと予想をもたせることで意欲的に観察や実験に取り組みせ、実験の結果と自然の事象との関係づけができるよう指導の工夫を行う。	・予想をたて実験に取り組むことで、主体的な学びへとつなげ、話し合い活動を充実させることで思考力、判断力、表現力を育成する。	・既習事項や生活体験から得た知識を関連付けて予想を立て、それを確かめる実験を通して、科学的思考を養う。
生活	・観察や体験で感じたことや気づいたことをワークシートに記入して言語化し、他児童と共有をして学びを深める。	・動植物の観察や、町探検で、観点を示して実物を見せる。 ・自己の成長について、保護者へのインタビューや写真で実感をもたせる。				
音楽	・児童の関心意欲を引き出せるように、教科書の拡大を掲示するなど教材を工夫する。様々な楽器や歌に触れ、音楽に親しむ。	・鑑賞活動において、曲想を言葉で表現したり、体を動かして楽しんだりさせる。 ・歌や楽器演奏の反復練習。	・それぞれの曲に合った響きで歌おうとする意欲を引き出す指導を工夫する。 ・反復練習を通し、基本的な演奏技能を確実に身に付けさせる。	・各声部を聴いて声を合わせる合唱の楽しさを味わわせる。 ・様々な楽器に触れさせ、基本的な演奏技能の定着を図る。	・自分の思いをもって演奏する力を身に付けさせる。 ・世界のいろいろな音楽に親しめるような題材・教材を工夫する。	・曲想を生かして表現したり、楽器の特徴を生かして演奏したりできるように、豊かな表現力を育成する。
図画 工作	・絵や工作などで、形や色彩、イメージなどが表現できるように、児童の発想力を引き出す。	・自由な発想で作品作りを行わせる上で、新しく柔軟な発想をしている作品を見せて、さらに発想力を引き出す。	・試したり見つけたりしながら自分らしい造形的な表現の追求をし、発想力を引き出す。	・表し方を工夫し、自ら考え自分なりの表現できるように、材料や場などを設定し、発想力を引き出す。	・自分の発想したことを思い通りに表出できるように、新しい技法や表現方法を導入し、発想の幅を広げる。	・6年間で培った経験や知識、技法を活かし、自ら表現方法や道具を決定できるようにし、発想力を引き出す。
家庭					・家庭生活・衣食住の生活や消費生活について関心を持ち、基礎的な技能を身につけ、進んで活用する力を育む。	・家庭生活・衣食住の生活や消費生活に関する実践的・体験的な活動を通して生活をより良くしようと工夫する
体育	・準備運動後の補助運動の充実やゲーム等で運動量の確保し、体力の向上を図る。 ・単元ごとにカードを使用して、振り返りを行う。	・運動遊びの充実で運動量の確保し、体力の向上を図る。 ・めあてをもって活動し、学習の振り返りをする。	・個人やグループでめあてをもって活動し、学習の振り返りをする。課題把握させる。 ・自分の課題の解決方法を考え、子どもたち同士で伝え合う活動をする。	・個に応じた学習の場を設定し、達成感を得られるような学習にする。 ・めあてと振り返りで思考力、技能の向上を図る。	・児童の運動能力や生活習慣等、調査結果に基づいて児童が主体的に学習の場を選択することで、体育科における思考力、技能の向上を図る。	・自己の課題解決させるために、個に応じた場を選択させ主体的に学習に取り組ませる。